

外観



2階建ての建物の外観は、城下町の名残のある土地柄を生かし、瓦屋根が特徴的な和風モダンのデザインに。信州の豊かな自然に囲まれている。

共用空間



2つの大きな中庭を持つ日の字型の回廊プランを採用。廊下は車いす使用者がすれ違うことができるように、2,000mm程度の幅を確保。

共用食堂



介護スタッフが入居者の様子を見守りながら調理や後片付けができるように、アイランド型キッチンを採用。食堂内にも洗面コーナーを設置。

居室



外光が差し込む18㎡の広めの居室。入居者のプライバシーを尊重し、各居室にトイレと洗面所を設置している。

1F 地域交流ホール



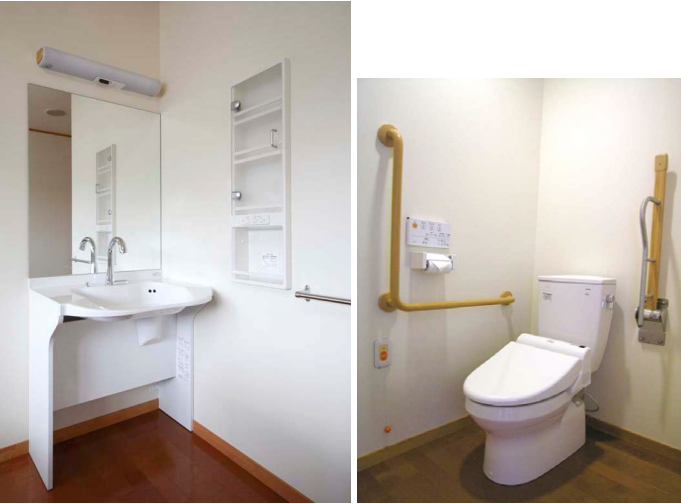
入居者と地域の方が交流を図るスペースには、アイランド型キッチンを設置。大人数での使用を考慮し、シンクは2個備えている。

共用浴室・脱衣室



共用浴室は各ユニットに1ヶ所設置。入浴する際にトイレに行きたくなる方が多いため、脱衣室の一角にトイレを設置している。

居室 洗面・トイレ



居室にも、足元がオープンな洗面カウンターを採用。トイレは車いす使用者も使いやすいよう、1,400mm×1,780mmのスペースを確保している。

2F 1ユニット平面図



脱衣室 洗面コーナー



車いす使用者の使い勝手や手入れのしやすさから、既存施設で評価が高かった洗面カウンターを採用。

共用トイレ



車いす使用者に配慮し、L型手すりとはね上げ手すりを取り付けている。入口扉も開閉しやすい引戸を採用。

建築概要

名称	地域密着型介護老人福祉施設 柴やすらぎの園
所在地	長野県長野市松代町柴330-1
施主	社会福祉法人睦会
設計	有限会社関建築+まち研究室
施工	株式会社守谷商会
竣工年月	2011年3月
建物規模	地上2階

水まわりの特長

<施設の特徴>
長野市の地域密着型介護老人福祉施設第1号として認可を受けたユニット型特別養護老人ホーム。建物は2階建てで、2つの大きな中庭を持つ日の字型の回廊プランを採用。採光や風通しもよく、天気の良い日には中庭でくつろぐことができる。地域との密接なかかわりも大切にしており、1階に設けた広々とした地域交流ホールでは、近隣の小学校との交流会も行われている。

<水まわりの特長>
「家庭の延長」というコンセプトで設計。初期段階から設計者と介護スタッフが空間の広さを実寸大で確認しながら、共有スペースや居室の広さおよび、トイレやキッチンの使いやすい寸法などについて検討を行った。共用食堂には、介護スタッフが入居者の様子を見守りながら、調理や後片付けができるように、アイランド型キッチンを採用。カウンターは、介護スタッフが使いやすい高さに設定した。また、各居室は基準より広めの18㎡とし、車いす使用者に配慮したトイレと洗面所を全室に設けている。